

## 【寄稿】

この度、中国大使館商務処の宋耀明公使から新型コロナウイルス肺炎による感染に関する寄稿文が下記のとおり当協会に寄せられましたので、ご紹介致します。

### 新型コロナウイルスとの戦いに勝つ——中日手を携え

中国大使館・宋耀明公使（経済商務）

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、人々の不安が募っている。この未知で未曾有の試練を前に、中国は責任を持つ国として、恐れることなく、国を挙げて戦っている。

春節の元日に、習近平主席が新型コロナ対策会議を主催し、政府各部門が参加する対策チームを立ち上げた。国民の命を最優先し、全国の人、モノを総動員する体制ができた。一か月満たない間に、2万人以上の医療関係者が中国各地から武漢に赴き、危険を顧みず感染者の治療に当たっている。7000人の建設者と千台近くの建機が24時間体制でフル稼働し、わずか10日間で建築総面積3万3900平方メートル、ベッド数1000床の火神山病院が建設された。現在、武漢では火神山病院のほか、雷神山病院及び15の方艙病院（臨時医療施設）が整備されており、既存の病院と合わせて40,000人近くの患者を収容できる。国の財政から累計600億元を超える緊急対策資金を投入し、支援物資をいち早く現場に届けるように、各種手続きと手数料を最小限にし、6万トンの野菜と1万トンの冷凍豚肉がタイムリーに武漢市場に運ばれた。大勢の市民が自発的にボランティア活動を行い、寄付金を募集し、野菜、生活用品、医療物資を調達し武漢に届けている。全国民は政府の呼びかけに応じて外出を控え、感染経路の遮断に努めている。

現在、新型コロナウイルスは引き続き猛烈な攻勢をかけているが、中国国民の努力により、改善の兆候が見られている。湖北省以外の地域においては、感染者数が減少傾向にあり、死亡率は2%以下にコントロールされており、完

治・退院の人数は死亡人数を大幅に超えている。全体的に言えば、新型コロナウイルスの感染は防止、制御、治療ともに可能である。中国は必要な資源を全面動員できる制度上の優位性、公共衛生緊急事態に対応する豊かな経験、進んだ感染防止と治療手段を有している。更には日本をはじめ、国際社会からの多大な支援と暖かい応援を力に、われわれは、この新型コロナとの戦いで勝利を収める能力と自信がある。

今回の戦いでは、中国は常にグローバル社会の一員として、積極的に国際協力を行っている。中国は全国の専門家を結集しわずか1週間でウィルスのゲノム情報を解析し、即時に世界に公開した。世界保健機関（WHO）と緊密に連携し、感染情報を積極的に共有している。世界的なパンデミックへの発展を阻止するため、中国は、1000万人超の居住人口を持つ武漢を躊躇なく封鎖し、海外団体旅行をすべて禁止にするなどWHOの勧告や国際的な基準を上回る最も厳格で断固とした措置を導入した。WHOをはじめ、多くの国々により中国の対応が高く評価された。WHOのデトロイト事務局長は、「中国は記録的な速さで病原体を見つけ出し、迅速且つ透明的に情報を公開し、有効的な措置を取り、他国への感染拡大を大幅に抑えた。中国の取り組みは、尊重と評価に値する。他国も見習うべきである。事実上、中国側の多くの措置は、緊急事態対応の関連要求を遥かに超え、各国の感染拡大防止に新たな手本を示した」と表明した。日本の茂木外務大臣は、「中国の政府と国民が習近平国家主席の指導の下、新型コロナウイルスの感染拡大を断固として抑制するために積極的で力強い措置を講じていることに、日本側として敬意を表する。」と表明した。

今回の戦いでは、日本政府及び経済界の友人の皆様からたくさんの支援をいただいております、この差し伸べられた手から我々に温もりが伝わってきました。茂木外務大臣、菅官房長官から何度も日本が全面支援するとおっしゃい、日本政府から防護物資をたくさん提供された。二階自民党幹事長が「親戚の人が病になった」、「助けに行く」というご発言も、多くの中国人を感動させている。日本で確認された中国人感染者に対しても、日本の医療機関が速やかに治療にあたり、手厚くケアした。また、日本国際貿易促進協会の会員企業を含むたくさんの日本企業、友好団体や一般の方々からも多大な支援を頂いている。中国側

としても中国滞在中の日本人の安全を積極的に確保し、課題を速やかに解決すべく動いてきた。武漢在留日本人の帰国チャーター便にも全力で協力し、武漢での日本人帰国に携わる方のために、特別にビザを緊急発給した。さらに、日本国内では新型コロナウイルスの検査キットが不足していると同い、中国側は速やかに関係方面と調整し、検査キットを日本国立感染症研究所に無償提供した。

日本側の善意も両国社会で大きな反響を呼んでいる。二階幹事長の発言は「ウェイボー」で 2000 万の閲覧数を集め、多くの日本人ユーザーが中国大使館のツイッターに武漢や中国を激励する書き込みを残した。漢語水平考試 (HSK) 日本事務局の支援物資に書かれた「山川異域 風月同天 (別の場所に暮らしていても、自然の風物はつながっている)」の言葉やチャイナドレスを着ている日本人少女が武漢のために義援金を募るシーンが中国の SNS で大きな話題となった。感染症は一時的なもので、友情は末永いものである。ウイルス感染という危機的状況によって両国民は遠ざかるのではなく、より強い絆で結ばれるようになった。

日本側が検疫や入国において一定の規制をかけていることにも留意している。両国は人的往来のべ 1000 万人、貿易額は 3000 億ドル、姉妹都市は 250 組を超えるという、切っても切れない関係となっている。テドロス事務局長は中国に対する「貿易と渡航の制限を勧めない、むしろ反対する」と発言し、WHO は中国が感染に勝てると確信すると強調した。日本側には、客観、公正な態度で、WHO の的確なアドバイスに従い、中日間の人的・貿易往来が阻害されないよう取り組んでいただきたい。

感染拡大によって中国経済、世界経済への影響が懸念されるとの声があるが、中国政府は感染拡大防止と同時に、経済の安定にも力を入れている。中国人民銀行が市場に 1 兆 7000 億元の資金を市場に供給するほか、政府は融資規制の緩和や緊急対策資金の投入、税金免除など、一連の市場安定措置を導入した。また、生産停止による企業への打撃を最小限に抑えるよう、関係部門や各地方は現地の事情に基づき、適切な安全対策をとるよう企業に指導を行った上、生産再開を支援する。特に、日本企業を含む、外資系企業を支援するため、中国

商務部は2月7日および2月18日付けで、「新型肺炎への積極対応および外資企業へのサービスと誘致の強化に関する通知」と「新型肺炎への積極対応および対外貿易・外国投資の安定発展と消費促進に関する通知」をそれぞれ公表した。両通知には、デジタル窓口を通じて行政手続きの簡素化、外資系企業が直面している問題の聴取、新型コロナがもたらした影響の情報を収集・分析した上での適切な支援、財政・金融・雇用など支援策活用の指導をするなど一連の措置で外資系企業の営業復旧を支援する内容が盛り込まれている。こうした努力によって、現在上海・深圳・広州・長春・南京などで一部の日系企業の生産が既に再開した。

客観的に分析すると、中国経済に対する新型コロナの影響は短期的なもので、中国経済は長期的に上向き、質の高い成長を続けるファンダメンタルズに変化はない。中国は世界最大の市場を有しており、中所得者層は既に4億人を突破し、巨大な消費力が潜んでいる。すべての製造業部門を有する唯一の国そして最大の貿易国として、中国には持続成長の基盤が整っており、経済に内包する強靱性が高まっている。中国は2003年のSARSと2008年の金融危機を乗り越え、経済の高度成長を維持する経験を積み重ねてきたし、今回も感染症の影響に対応し、経済の長期的且つ安定した発展を維持する自信とその能力を持っている。国際通貨基金（IMF）のゲオルギエワ専務理事は中国経済が新型コロナウイルス感染拡大の影響から「早期に回復する」可能性が高いとの見通しを明らかにした。日本企業の皆様には、中国経済の安定発展に自信を持っていただき、新型コロナの影響を客観的・全面的に認識し、適切な対応を取りつつ、中国における生産の再開、中国ビジネスの復旧を一刻も早くできるよう共に取り組んでいただきたい。中国側としては引き続き法令に基づいて中国における日本企業の合法権益を守り、関心事項の早期解決に努めることを約束したい。

「冬は永遠には続かない。春はいずれ訪れる。」ウィルスとの戦いは簡単ではないが、中日両国の力を合わせれば、この戦いを必ず勝ち取れると信じる。皆様には引き続きご支援とご支持をよろしくお願い申し上げます。事態収束後、またぜひ中国そして湖北省、武漢にも足を運んで、東湖の周遊と熱乾麺を楽しんでいただきたい。（原文：日本語）